

柳津昭和線 琵琶首2工区(柳津町)が開通しました

平成24年11月25日(日)午後3時に柳津昭和線琵琶首2工区が開通しました。これにより幅員が狭く、車のすれ違いが困難であった箇所が解消され、安全で安心に通行できるようになりました。



【開通式の様子】

県道柳津昭和線は、河沼郡柳津町大字持寄を起点とし、大沼郡昭和村大字小野川へ至る延長27.5kmの主要生活幹線道路です。また、国道400号や博士峠が冬期間通行止めとなる国道401号の代替路線でもあるため、欠くことのできない重要な路線となっています。

平成22年5月の玉梨スノーシェッド(金山町大字玉梨地内)落石時の国道400号通行止めにおいては、本路線が迂回路となり、その重要性が改めて認識されました。

しかしながら、柳津町大字琵琶首地内においては、幅員が狭く車のすれ違いが困難であることから、通行の支障となっていました。

このため、県では平成22年度から全体延長1,040mのバイパス事業に着手し、平成24年11月25日に完成供用しました。



【供用開始した直後の様子】

位置図



【琵琶首2工区の概要】

位 置: 河沼郡柳津町大字琵琶首地内
全 体 延 長: 1,040m
幅 員: 道路幅8.0mうち車道幅6.0m
事 業 期 間: H22~H24